

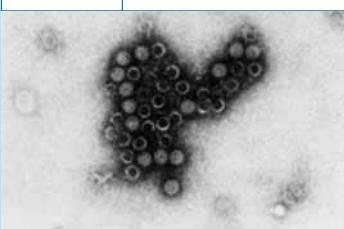
まごころ通信

Vol.9 2005 1月

新年明けましておめでとうございます。今年も「まごころ通信」をどうぞよろしくお願ひします！今年初めてのまごころ通信は、『口タウイルスについて』です。

口タウイルス

写真形式	透過型電子顕微鏡像
倍率	26000倍



【口タウイルスとは】

冬の寒い時期に、生後6ヶ月から2歳くらいまでの乳幼児がかかることが多い、急性胃腸炎をあこす代表格の感染力が強いウイルスです。

【感染経路】

下痢便中に多量に排泄されるウイルスなので、そこから手を介してほかの食器や食物にウイルスを移し、それを別の人食べると糞便感染が一番多いとされています。

大人は感染しても軽症や無症状が多く、しかし糞便にはウイルスが出ていて、そこから家庭内の乳幼児に感染するという例が多かったり、幼稚園・保育園などの集団生活で子供どうしの接触による場合などもあります。

【症状】

激しい嘔吐（1日5～6回）、激しい下痢（米のとぎ汁のような白色の便）が特徴ですが3～8日程度で治ります。発熱は半日～1日で終わる場合が多く、2日を超える例はありません。
※激しい嘔吐や下痢により急激に水分を失いますので、特に乳幼児では脱水症状に気をつける必要があります。

【治療】

現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。しかし上記のような症状がみられ、飲んでも吐いてしまう場合は、早めに医療機関を受診してください。



【ホームケア】

月齢が小さいほど、脱水症状に陥りやすいので、早めに水分補給をするようにしましょう。吐き気が強いときはしばらくはお腹を休め、落ち着いたら水分（市販のイオン飲料等）を少しづつ補給しましょう。

お風呂は熱がなく、ぐったりしていなければ、軽くはかまいません。お尻はきれいにしましょう。

【予防方法】

日頃から、調理前や食事前、トイレの後などにおいて、せっけんを使ってしっかりと手を洗うようにしましょう。



【二次感染を防ぐために】

患者の便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれていますので、その処理には十分注意する必要があります。また、下痢の症状がなくなった後も、患者の便にはしばらくウイルスの排出が続くと考えられますので、症状が治まっても安心はできません。汚物を処理する際には使い捨ての手袋を使用し、用便後や調理前の手洗いを徹底しましょう。

【ノロウイルスとのちがい】

ノロウイルスは、カキ等の二枚貝に存在し、食中毒の原因となるものです。症状・対処方法は口タウイルスとほぼ同じです。同様に注意してください。また、カキを調理するときは十分に火を通してください。

健康福祉課（城里町常北保健福祉センター内）

☎029-240-6550（直通） ☎029-288-3111（代表） 保健師まで

次回のまごころ通信は「認知症予防」です